

研究分野	漁場環境	部名	浅海環境部
研究課題名	漁業者参加型漁場監視体制整備事業		
予算区分	予算令達なし		
試験研究実施年度・研究期間	H. 13		
担当	今井 美代子		
協力・分担関係	水産振興課		

〈目的〉

漁業者自らが積極的に監視活動(本課題では、サンプリング)を行うことにより、漁場環境監視体制の強化を図る。

〈試験研究方法〉

実施海域・脇野沢、むつ、野辺地、青森
調査項目・COD、TS、IL、含泥率

〈結果の概要・要約〉

脇野沢、むつで各項目の数値が高い。

〈主要成果の具体的なデータ〉

観測点	採取月日	水深 (m)	泥温 (℃)	COD (mg/g)	TS (mg/g)	IL (%)	含泥率 (%)
青森	H13. 12. 3			12.0	0.1	3.9	28.2
	H14			17.0	0.3	12.4	35.2
	H15. 10. 8	27.0		2.4	0.0	1.2	8.2
野辺地	H13. 10. 4	30.0	19.0	8.6	0.1	2.7	13.5
	H14. 11. 14	22.0		5.6	0.1	2.1	12.7
	H14. 11. 14	27.0		4.4	0.0	1.9	6.4
	H15. 10. 1	30.0		4.4	0.0	1.6	5.6
むつ	H13. 10. 4	17.5	18.8	28.5	0.4	9.2	60.9
	H14. 8. 21			30.2	0.4	10.4	68.5
	H15. 8. 28	18.0	18.6	31.5	0.2	8.6	67.2
脇野沢	H13. 8. 31	43.0	16.6	34.6	0.2	9.5	55.2
	H14			3.4	0.0	4.2	0.1
	H15. 5. 21		8.0	37.3	0.1	9.0	56.6

〈今後の問題点〉

まだ漁業者自身の調査という意識が薄く、調査野帳の記入漏れや、サンプリングの不備(調査地点のずれ)が目立つ。

〈次年度の具体的計画〉

調査の継続とデータの蓄積

〈結果の発表・活用状況等〉

平成 15 年度漁場環境保全推進事業東北ブロック会議で報告

平成 15 年度漁業公害調査指導事業検討会で報告